

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績I～IV、VI）

(I) 労働時間			
前年度(年度)	雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	時間	24,723
	雇用契約を締結していた延べ利用者数	人	5,525
	利用者の1日の平均労働時間数	時間	4.41

(II) 生産活動			
会計期間(3月～4月)	生産活動収入から経費を除いた額	円	21,171,084
	利用者に支払った賃金総額	円	22,981,415
	収支	円	▲ 1,810,331
前々年度(4年度)	生産活動収入から経費を除いた額	円	25,406,820
	利用者に支払った賃金総額	円	25,302,434
	収支	円	104,386
前年度(5年度)	生産活動収入から経費を除いた額	円	29,487,743
	利用者に支払った賃金総額	円	25,399,502
	収支	円	4,088,241

(III) 多様な働き方			
前年度(年度)における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）			
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	②利用者を職員として登用する制度	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	◎利用者を職員として登用する制度を定めている	◎在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
④フレックスタイム制に係る労働条件	⑤短時間勤務に係る労働条件	⑥時差出勤制度に係る労働条件	
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている		

(IV) 支援力向上			
前年度(6年度)における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）			
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	②研修、学会等又は学会誌等において発表	③視察・実習の実施又は受け入れ	
◎研修計画を策定している	◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	◎先進的事業者の視察・実習の実施している	<input type="checkbox"/>
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	※研修名 地域で障害者が自立していくための取り組み報告発表会 実施日 1月 20日	もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修名 障害者虐待防止・権利擁護・身体拘束内部研修 研修講師	※学会誌等名 掲載日 月 日	※先進的事業者名 実施日 / 参加者数 月 日 人	
実施日・受講者数 11月 11日 5人	発表テーマ 地域企業様と連携した成功事例等	※他の事業所名 タスカル 実施日 / 参加者数 8月 26日 3人	
④販路拡大の商談会等への参加	⑤職員の人事評価制度	⑥ピアソポーターの配置	
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	◎職員の人事評価制度を整備している	◎ピアソポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
※商談会等名 無人ビジネスミーティング 主催者名 無人ビジネスリーダー会 日時 12月 15日 内容 無人ビジネスと福祉が協働することで 新たなビジネスを創出する意見交換会	◎当該人事評価制度を周知している 人事評価制度の制定日 H29年 4月 1日 人事評価制度の対象職員数 6名 うち昇給・昇格を行った者 6名 当該人事評価制度の周知方法	◎当該ピアソポーターは「障害者ピアサポート研修」 を受講している	<input type="checkbox"/>
		※配置期間 月 日～月 日 就業時間 職務内容	
⑦第三者評価	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
◎前年度末日から過去3年以内に 福祉サービス第三者評価を受けている	◎ISOが制定したマネジメント 規格等の認証等を受けている		
※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関	※認証を受けた日 月 日 規格等の内容		

(V) 経営改善計画			
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、 経営改善計画書へ提出した。			
※受理日 年 月 日			

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。